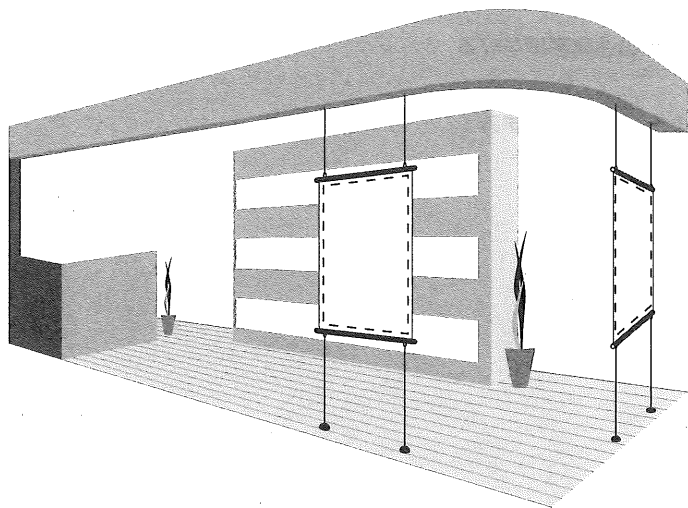




# TLF-AM2

SoundSignage

TLFアンプモジュール



## はじめに

ヤマハ TLF-AM2 をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。  
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。  
本書はなくさないように、大切に保管してください。

## 同梱品をご確認ください

TLF-AM2 (本製品) …1 台  
AC アダプタ (TLF-PS01) …1 個  
USB ケーブル…1 本  
取扱説明書 (本書) …1 冊  
保証書 (本書 14 ページ)

## 本製品を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

### ■安全のための注意事項を守る

詳しくは、3～7 ページをご覧ください。

### ■故障したら使用を中止する

お買い上げの販売店にご連絡ください。

#### 高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第 3-2 部：限度値-高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

## 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

#### ⚠警告



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

#### ⚠注意



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。





	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。

# ! 警告

 禁止	<p>SPEAKER OUT 端子には、TLF-SP1 または TLF-EX1-10 以外の機器と接続しない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>下記の場合には、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 異常なおいや音がする</li> <li>• 煙が出る</li> <li>• 破損した</li> <li>• 水がかかった</li> </ul> <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。必ず販売店に修理や点検をご依頼ください。</p>
 めれ手禁止	<p>ぬれた手で本製品を扱わない。 感電や故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>分解・改造は絶対にしない。 内部には高電圧回路があり感電の原因になります。また、改造は火災や感電、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>ケーブルを傷つけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 重いものを上に載せない</li> <li>• 加工をしない</li> <li>• ステープルで止めない</li> <li>• 無理な力を加えない</li> <li>• 熱器具には近づけない</li> </ul> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>必ず付属の AC アダプタ (TLF-PS01) を使用する。 それ以外の AC アダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>必ず日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。 海外など異なる電源電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。 万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。</p>
 必ず実行	<p>電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。 差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。</p>

 <p>必ず実行</p>	<p>コンセントやテーブルタップの電流容量を確認し、本製品を使用してもこの容量を越えないことを確認する。 テーブルタップなどが過熱、劣化して火災の原因になります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>各端子の規格に適合したケーブルを接続する。 本来とは異なるケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>端子部を指や金属で触れない。 感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品は屋外や、水滴のかかる場所には設置しない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気があたる場所、腐蝕性ガスがかかる場所に設置しない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>本製品の近くに花瓶など液体の入ったものや、傘など濡れたものを置かない。 内部に水などの液体が入ると、感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>放熱を妨げない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 布やテーブルクロスをかけない</li> <li>• じゅうたん、カーペットの上には設置しない</li> <li>• 通気性の悪い狭いところへは押し込まない</li> </ul> <p>本製品の内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴りはじめたら、本体や USB ケーブル、AC アダプタには触れない。 感電の恐れがあります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>ゴミやほこりは、定期的に取り除く。 ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になります。</p>

# ! 注意

 必ず実行	スピーカーケーブルは、本製品の電源を切ってから 20 秒待って取り外す。 感電の恐れがあります。
 禁止	不安定な場所や振動する場所には設置しない。 本製品が落下や転倒して、故障の原因になります。
 禁止	直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。 故障の原因になります。
 禁止	環境温度が急激に変化する場所では使用しない。 環境温度が急激に変化すると、本製品に結露が発生し故障の原因になります。
 禁止	本製品の上に乗ったり、物を置いたりしない。 故障の原因になります。
 禁止	本製品を他の機器と重ねて置かない。 熱がこもり、故障の原因になります。
 禁止	電源を入れたままケーブル類を接続しない。 本製品および接続機器の故障の原因になります。
 必ず実行	再生を始める前には、スピーカーの音量（ボリューム）を最小にする。 突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。
	本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去する。 静電気によって故障するおそれがあります。

## 使用上のご注意

- 本製品は一般向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適用するようには設計されていません。
- 本製品の使用方法を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠していません。
- 本製品は磁界が強い場所に設置しないでください。
- 本製品の使用環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。
- スピーカーケーブルを電源ケーブルなどに近づけて配線すると、大きな電圧が誘起され正常に動作しない場合があります。
- 本製品のSD スロットは、SD カード、SDHC カードに対応していますが、すべてのSD カード、SDHC カードに対して動作を保証するものではありません。
- メディア内のデータは、あらかじめバックアップを行ってください。使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。
- 保存データが失われたことによる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を譲渡する際は、取扱説明書と付属品も合わせて譲渡してください。
- 本製品を廃棄する場合には、お住まいの自治体の指示に従ってください。

## サポート規定（お客様サポートについて）

ヤマハ株式会社は本製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートを提供いたします。

### 1. サポート方法

- FAQ、設置例等の Web 掲載
  - 電話でのご質問への回答
  - カタログ送付
  - 代理店・販売店からの回答
- ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店より回答させていただく場合がありますので予めご了承ください。

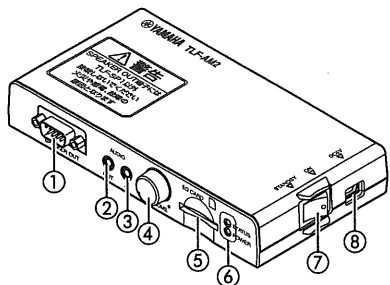
### 2. サポート項目

- 使用方法、設置・設定について
- 製品の修理について
- 代理店または販売店のご紹介

### 3. 免責事項・注意事項

- 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもちて行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。また、動作不良によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。
- 尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。
- 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行います。
- ご使用になる環境（仕器への組込みや表面カバー装着など）に依存するため、性能保証を行っておりません。
- 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。
- お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、適切なサポートが行えない場合があります。
- やむを得ない事由により本製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- 製品の修理は代理店・販売店経由で受け付けて頂きます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。
- 発送は弊社指定の通常宅配便（国内発送のみ）にて行わせて頂きます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承ください。尚、保証期間中の無償修理（無償例外事項）等の詳細規定は保証書に記載しております。
- 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

## 各部の名称とはたらき



### ① SPEAKER OUT (スピーカー出力端子)

TLF-SP1 のスピーカーケーブルを接続します。

### ② AUDIO OUT (オーディオ出力端子)

本製品を連結時に別の TLF-AM2、TLF-AM1 と接続します。

### ご注意

- 本製品のボリュームとは連動していません。
- SPEAKER OUT 端子に TLF-SP1 を接続していないと出力されません。

### ③ AUDIO IN (オーディオ入力端子)

外部音源または連結時に別の TLF-AM2、TLF-AM1 と接続します。

### ④ VOLUME

スピーカーの音量を調整します。

### ご注意

AUDIO OUT とは連動していません。

### ⑤ SD CARD (SD スロット)

MP3 ファイルを入れた市販の SD カード、SDHC カードを挿入します。

### ⑥ STATUS/POWER

本製品の動作状態を示します。

#### STATUS ランプ：

本製品の状態を示します。

- 点灯…MP3 再生状態
  - 点滅…TLF-SP1 未接続状態
  - 消灯…TLF-SP1 接続状態
- 外部入力による再生時は点灯しません。

#### POWER ランプ：

本製品の電源の状態を示します。

- 点灯…起動状態
- 消灯…スタンバイ状態

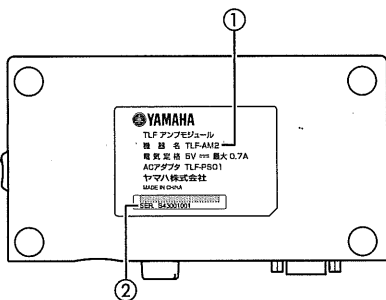
### ⑦ STANDBY/ON (電源スイッチ)

電源の STANDBY/ON を切り替えます。

### ⑧ DC5V (電源コネクタ)

付属の AC アダプタ (TLF-PSO1) を接続します。

## 底面



### ① 機器名

本製品の機器名が記載されています。

### ② シリアル番号

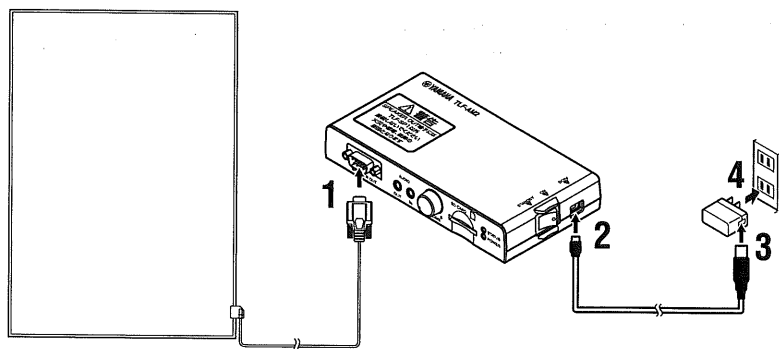
製品を管理 / 区分するための製造番号です。



## 設置する

### ご注意

- 本製品は TLF-SP1 専用アンプです。TLF-SP1 以外のスピーカーは接続しないでください。
- スピーカーの音量を最小にしてください。
- 電源スイッチを「STANDBY」にしてください。



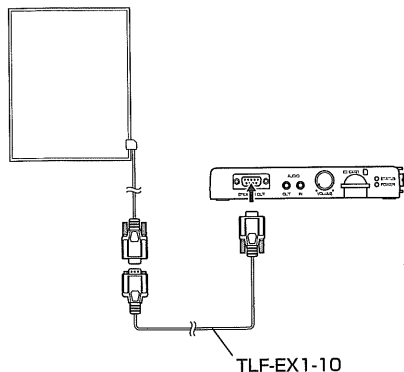
1 スピーカーケーブルを SPEAKER OUT 端子に接続する。

2 電源コネクタに USB ケーブルを接続する。

3 AC アダプタに USB ケーブルを接続する。

4 AC アダプタをコンセントに接続する。

■スピーカーケーブルを延長する場合はスピーカーケーブルを延長する場合は、専用の延長ケーブル (TLF-EX1-10) を使用します。また、延長ケーブルは最大 5 本 (50m) まで接続することができます。



### ■本製品を接続する場合は

市販のステレオミニケーブル (抵抗無し) を使用して、各 TLF-AM2、TLF-AM1 の AUDIO OUT 端子と AUDIO IN 端子を接続します。また、接続は TLF-AM2 と TLF-AM1 を混在して接続することができます。右図は、親機に 3 台の子機を接続する場合の例です。

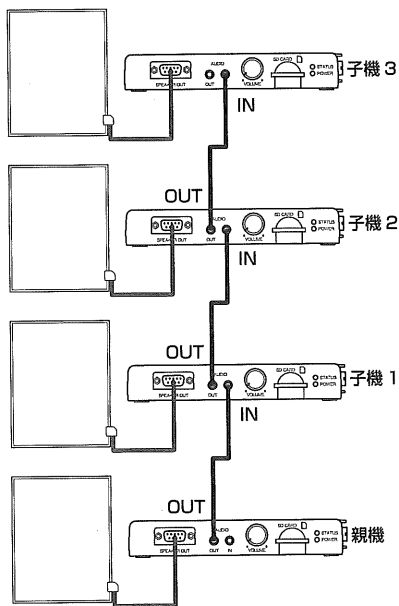
### ご注意

- 本製品を接続する場合は、TLF-SP1 の表裏の向きが全て同じになるように設置してください。向きを間違えると、正相・逆相が混在する状態となり音を打ち消すため本来の性能が発揮されません。
- 本製品を接続してお使いの場合、連結中の一部の電源を切るとそれ以降のスピーカーからノイズが発生することがあります。連結中に本製品の電源を切る場合は、連結の最後尾から電源を切るようにしてください。

- 連結は TLF-AM2 と TLF-AM1 を混在して接続することができますが、ボリューム設定は同一にはなりません。

### ※ ヒント

- 本製品は 20 台まで連結することができます。
- 外部音源から再生している場合は、再生機器側で音量を調整すると連結している機器全体を調整することができます。



## 音源を接続する

### ご注意

外部音源と SD/SDHC カードは同時に使用しないでください。

### SD/SDHC カードを使用する場合

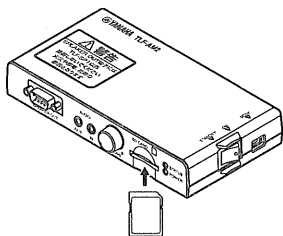
MP3 ファイルを入れた市販の SD/SDHC カードを、本製品の SD スロットに挿入する。MP3 ファイルについては「本製品で利用できるメディアとオーディオファイル」(12 ページ) をご覧ください。

### ご注意

SD/SDHC カードを挿入する場合は、電源を切ってから行ってください。

### ※ ヒント

- 電源を入れると、SD/SDHC カード内の MP3 ファイルの再生が開始されます。また、再生を停止するには、電源を切ってください。
- 本製品は SD/SDHC カード内の全ての MP3 ファイルをリピート再生します。



SD/SDHC カードを取り出すには SD/SDHC カードをカチッというまで押し込みます。SD/SDHC カードが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

### ご注意

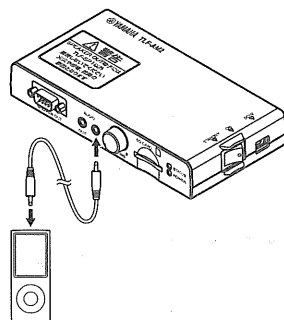
SD/SDHC カードを取り出す場合は、電源を切ってから行ってください。MP3 データおよび SD カード自体を破損する場合があります。

### 外部音源を使用する場合

再生機器の AUDIO OUT 端子と本製品の AUDIO IN 端子をステレオケーブルで接続する。

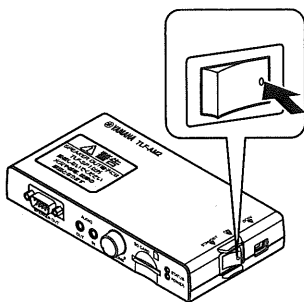
### ご注意

再生機器を接続する場合は、電源を切ってから行ってください。



## 電源を入れる

電源スイッチを「ON」にして、電源を入れます。



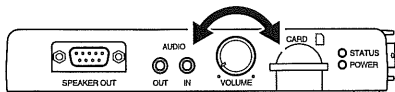
### ご注意

電源を入れる前には、スピーカーの音量を最小にしてください。

電源を切るには  
スピーカーの音量を最小にして、電源スイッチを「STANDBY」にしてください。

## 音量を調整する

VOLUME で調整します。



## 本製品で使用できるメディアとオーディオファイル

本製品で使用できるメディアとオーディオファイルは下記のとおりです。

メディア：SD カード、SDHC カード  
メディアフォーマット：FAT16、FAT32  
オーディオファイル：MP3

### ご注意

- 本製品は拡張子「.mp3」が付いている MP3 フォーマットのファイルを再生します（大文字、小文字は区別しません）。
- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアによっては正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、メディアのルート階層に保存してください。  
また、メディアには再生するオーディオファイル以外のデータファイルやフォルダーを保存しないでください。
- 再生可能 MP3 ファイルは、一般的な MP3 ファイル(MPEG 1/2/2.5 AUDIO Layer3 準拠)である必要があります。  
なお、フリーフォーマットの MP3 ファイルには対応していません。
- 再生できるオーディオファイルの数は最大 100 個です。  
最大数を超えた場合は正常に再生できない場合があります。
- 再生の順番を指定するには、順番を示す数字をファイル名の先頭につけてください。  
例：00name.mp3 … 1 番目のファイル  
01name.mp3 … 2 番目のファイル  
02name.mp3 … 3 番目のファイル  
…  
99name.mp3 … 100 番目のファイル

## 主な仕様

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

165mm × 27mm × 88 mm (突起部は含まず)

質量 :

本体 220g、AC アダプタ 50g (ケーブルを除く)

入力電源 :

AC100 (50/60Hz)

AC アダプタ出力電圧 :

DC5V 1A

最大消費電力 :

3.5W

動作環境条件 :

周囲温度 0 ~ 40 °C

周囲湿度 15 ~ 80 % (結露しないこと)

付属品 :

AC アダプタ、USB ケーブル、取扱説明書 (保証書含む)

## 保証規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書などの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
  3. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
    - (1) 本書のご提示がない場合。
    - (2) 本書のお買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
    - (3) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
    - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
    - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
  4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
  5. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- ※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますヤマハサービス窓口までお問い合わせください。
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動の為に利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

## 保証書

持込修理

この度はヤマハ製品をお買い上げ戴きましてありがとうございました。

本書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名 TLFアンブモジュール      品番 TLF-AM2      製造番号

お客様	ご住所 〒	お名前
		電話 (      )

販売店/住所/電話番号

お買い上げ日      年      月      日      お買い上げ日から1年間です。

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒に大切に保管ください。

お問合せ先 営業部 国内営業グループ  
TEL 03-5488-6844

ヤマハ(株)サウンドネットワーク事業部  
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

## サポート窓口のご案内

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

### ■ヤマハ TLF スピーカー お問い合わせ先

ヤマハ（株）サウンドネットワーク事業部 営業部 国内営業グループ  
TEL：03-5488-6844

#### ご相談受付時間

9：00～12：00、13：00～17：00

（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます）

## 本製品の保守サービスについて

### 保証期間

ご購入から1年間です。

### 保証書について

保証書をお受取りの際は、お買い上げ年月日・販売店などを必ずご確認の上保管してください。

万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴します。

### 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、ご購入の販売店にご連絡の上、本体のみをご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

### 保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店または上記サポート窓口までご連絡ください。ただし、修理対応期間は製造打ち切り後5年間です。

